

いきものの記

Vol.154 2025.9.9

生物教員 佐藤龍平

ぼくの夏休みの自由研究③

花崗岩帯と高山植物

か こう がん

まだ地学の話。登山ルートと地質図を眺めていたら、糸静線以外の他の“境界線”も気になり出した。南アルプスは地質図では北の方にだけ赤いエリアがあって、なんだかそこだけ特殊。しかもちょうどそこに鳳凰三山があり、ぼくらは通り抜けていた。この赤いエリアは花崗岩帯だ。花崗岩といえば墓石などにも使われる岩石で、火山でできる「火成岩」のうちの、地下深くで固まった「深成岩」にあたる、と中学の理科で習った気がする。なつかしい…。

1,600万年前頃に日本列島が割れて移動しているときに（Vol.152参照）、ユーラシアプレートとフィリピン海プレートとぶつかり、地下深くにマグマができた。そのマグマが固まって花崗岩となり、その後になんと3,000m以上隆起してこのあたりの山の山頂にだけたどり着いたようだ。鳳凰三山の山頂は一面真っ白の花崗岩でできていて美しい。この光景ができたのも、やっぱり日本列島の成立が関わっている。

山頂の花崗岩帯で見られる高山植物たち



ホウオウシャジン

鳳凰三山の特産種で、世界中でこの山の山頂付近の花崗岩帯でしか見られない。名前に山名の「鳳凰」がついている。ずっと見たかったが今まで花期が合わず、3回目の鳳凰三山でようやく見る事ができた。



タカネビランジ

南アルプスの特産種。花崗岩帯でだけ咲くわけではないが、白い岩からピンクの花が咲いている様子はとても美しく、タカネビランジを見るなら鳳凰三山が良い！と言われるそう。



↑グレーの縦長のエリアが赤石山脈（南アルプス）。その北部だけに赤いエリアがあり、ここにだけ花崗岩が分布していることを示している。



高嶺の様子

花崗岩ではなくなった



地藏ヶ岳

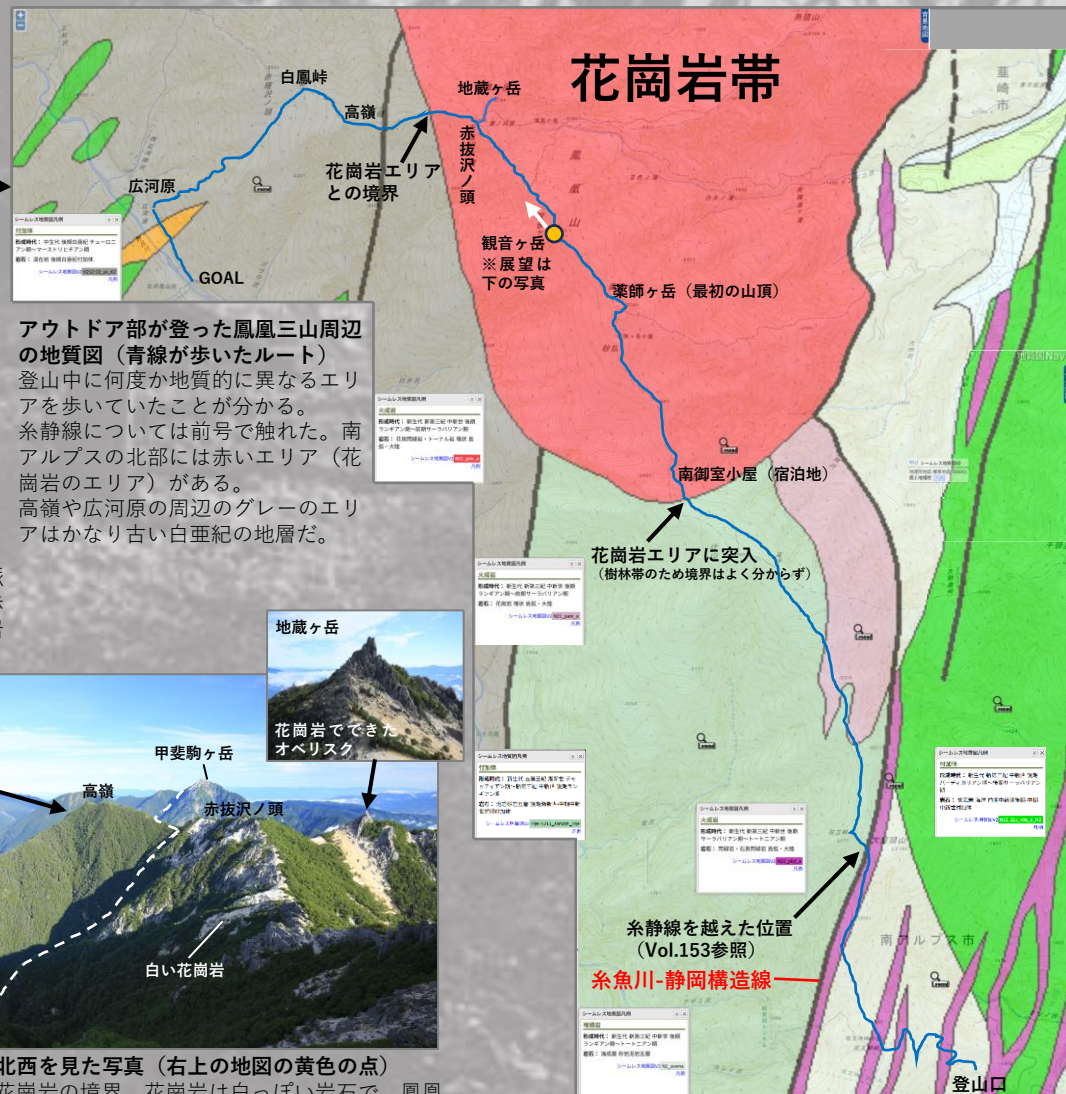
甲斐駒ヶ岳

高嶺

赤坂沢ノ頭

白い花崗岩

観音ヶ岳山頂から北西を見た写真（右上の地図の黄色の点）
白点線がちょうど花崗岩の境界。花崗岩は白っぽい岩石で、鳳凰三山の山頂は特徴的な白い尾根になっている。写真奥の甲斐駒ヶ岳も同様に山頂は白い花崗岩でできている。



花崗岩帯

地藏ヶ岳

赤坂沢ノ頭

観音ヶ岳

※展望は下の写真

薬師ヶ岳（最初の山頂）

南御室小屋（宿泊地）

花崗岩エリアに突入

（樹林帯のため境界はよく分らず）

糸静線を越えた位置

（Vol.153参照）

糸魚川-静岡構造線

登山口